

教科	科目名	学年	単位数	必修 選択
理科	化学基礎	1	2	必修

到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、化学的に探究する能力と態度を育むとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。
-------------	---

年間スケジュール

期間	単元・項目名・実施内容など	受講に対してのアドバイスなど	備考
1 学期 中間	序章 化学と人間生活 物質の製造・物質の利用・物質の性質と役割 1章 物質の構成 1節 物質の探究 2節 物質の構成粒子	化学を学ぶ上で、最も基本となる内容を取り扱います。暗記すべき内容は必ず暗記するようにしましょう。この単元の内容をおろそかにすると、今後の内容を理解することが困難になります。	
1 学期 期末	2章 物質と化学結合 1節 物質と化学結合 2節 物質の利用	途中で暗記した内容を復習して臨みましょう。元素の周期表の位置などに注目して化学結合を考えると、暗記した内容が意味を持ててきます。	
2 学期 中間	3章 物質の変化 1節 物質と化学反応式	原子や分子について、その個数や質量、体積の量的関係を学びます。ややこしい計算がたくさん出てくると思われがちですが、慣れてくると単純な比の計算であることがわかります。慣れるまで、演習を行いましょう。	
2 学期 期末	2節 酸と塩基	中学校ですでに学習している酸・塩基について、化学反応式を用いて、もう少し詳しく学習します。	
学 年 末	3節 酸化還元反応	酸化還元反応を酸素の受け渡しだけでなく、電子の受け渡しによって説明できるようになります。実験で観察した内容と結び付けて考えてみましょう。	

評価方法と 評価のポイント	定期考査（70～80％）に平常点（20～30％）を加算し成績を算出。平常点は授業用ノート、小テスト及び宿題や実験レポートから算出。
--------------------------	---

教科からのアドバイス

化学は、積み重ねの学問です。一回、一回の授業を大切に、その都度、内容を理解して下さい。わからないままにしておくと、次の内容が理解しにくくなります。予習より復習に力を入れて勉強しましょう。